

新宿連絡会

NEWS

vol.13 1999/10/25

10・15-16 反失業東京行動 延べ1100人の大結集！

**支援センター
「年内開設を」
ホームレス6百人デモ**

都内などで野宿するホームレス約六百人が十五日、新宿西口の柏木公園で集会を開き、約一時間にわたりデモ行進した。

都が計画している「自立支援センター」の年内開設を求める運動で、横浜や大阪、名古屋のホームレスもかけつけた。都がセンターの構想を打ち出したのは三年前。ホームレスが定期的に

朝日新聞・東京版

10月16日付



自立支援センターの開設などを求めて、デモ行進する人たち（新宿区で）

間滞在できる施設とし、「住所不定」を解消して就労を後押しする計画だった。だが、「迷惑施設」として敬遠され、建設のめどは立たないまま。この間、不況でホームレスは急増し、都によると、今夏には二三区内で前年より千五百人多い五千八百人になった。

デモに加わった新宿・中央公園暮らしの男性（左）は、副都心のビル街を歩きながら「かつてはこの辺のビル建設でおれたちも忙しかったが、今となっては、四十歳を超えたら日雇いの仕事は週に一度もない。警備や清掃の仕事は五十過ぎでもあるが、『住所』がない。センターができればありがたい」と話していた。

1999-2000 越年越冬に向けたご支援を！

定価：100円

新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議・発行

東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

TEL: 03-3876-7073 / 090-3818-3450 E-mail: inaba@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku/>

カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

10・15 都庁デモに600人が結集！

「自立支援事業開始への最後のトドメ！これで決める！全都野宿労働者対都デモ」と題して取り組まれた10月15日の都庁デモには、今年のメーデーに匹敵する過去最大規模の600人が結集し、大成功をおさめました。

新宿連絡会はこの日のデモに向けて、9月17日から毎週金曜日、新宿区及び都庁に対する行動を4週にわたって行なってきました。また、全都実（全都野宿労働者統一行動実行委員会）はこの問題の調整役である千代田区を中心に、各行政機関への働きかけを強め、事業開始に向けた動きのスピードアップを迫ってきました。

そして迎えた15日。集会会場となった新宿 柏木公園には、地元・新宿の仲間300人をはじめ、都内各地の野宿の仲間、また全国（横浜、川崎、名古屋、大阪、沖縄など）から駆け付けてくれた野宿・日雇の仲間など、総勢600人が集まりました。

集会の基調報告を受けた後、集会決議文（次ページ）を満場一致で採択し、600人のデモ隊は都庁に向け、出発しました。

デモの途中、5名の代表団が都庁に入り、福祉局と交渉。小坂部長から、「関係者との合意さえできれば、あとひと月程度で（自立支援事業暫定実施の）開始の決定ができるだろう」と、いつもより前向きな回答をかち取りました。

10・15都庁デモは、全都・全国の仲間の団結で大きな成果をもぎとることができました。全都実では、ようやく事業開始に向けた最終局面に入ったと認識していますが、実際に事業開始が決定され、仲間に向けた説明会が開催されるまで、「ダメ押し」の行動を続けていく予定です。

反失業全国集会開催される

都庁デモの余韻もさめやらぬ翌16日、「全国各地で反失業を闘う仲間の団結をさらに強めよう！反失業全国集会」が文京区民センターが開催されました。

日雇全協（全国日雇労働組合協議会）が呼びかけ、全国の野宿者当事者団体・支援団体が参加した実行委員会が主催した全国集会には、全国から集まった約500名の野宿者・支援者で会場を埋め尽くし、大成功をおさめました。

集会では、全国各地の反失業闘争や労働争議の報告がなされました。会場に集まった仲間は、報告を聞き逃すまいと皆が注目し（中には、必死にメモをとる仲間も）、拍手と声援が送られ、熱気溢れる集会となりました。各地の仲間が、この状況を何とか打開しようという意気込みでこの集会に集まったことを強く実感させました。

方針提起では、各地の状況や取り組みの違いを認め合いながらも、共通した課題には一致して取り組むことが提起され、

- (1) 来年、政府に攻めのぼろう！
- (2) 排除に抗して闘おう！
- (3) 団結して行動しよう！

という三点を参加者全体で確認しました。

今後、全国規模の闘いを作り上げていくための大きな一歩となる集会になったと思います。

<10・16反失業全国集会 実行委員会参加団体>
全国日雇労働組合協議会／市川ガンバの会／全都野宿労働者統一行動実行委員会／山谷労働者福祉会館活動委員会／野宿者・人権資料センター／ほしのいえ／川崎水曜パトロールの会／寿越冬闘争実行委員会／寿支援者交流会／日本キリスト教団 神奈川教区寿地区センター／横浜水曜パトロールの会／相模原水曜パトロール／藤沢火曜パトロールの会／横須賀夜回りの会／鎌倉パトロール／小田原交流パトロール／新潟・FOW越冬友の会／笹島連絡会／きょうと夜まわりの会／釜ヶ崎パトロールの会／釜ヶ崎反失業連絡会／釜ヶ崎キリスト教協友会／神戸の冬を支える会／北九州越冬実行委員会／久留米越冬活動の会／沖縄日雇労働組合

10・15 全都実総決起集会決議文

私たち全都野宿労働者統一行動実行委員会（全都実）に結集した団体および個人は、本99年も「仲間の命を仲間の力で守り切ろう」をスローガンに、越年・越冬の取り組みのみならず、年間を通じて、炊き出し、パトロール（夜回り）、医療相談、労働相談、生活相談、生活保護申請など、野宿の仲間の生活に密着する支援活動を展開してきた。

そして、都区行政に対し、「路上生活者対策」の推進、拡大、その中でもとりわけ懸案の自立支援センター早期開設を求め、担当行政への申し入れ、政策提言、交渉などを幾度となく行なってきた。

野宿の仲間をめぐる状況は、今日の厳しい経済情勢、雇用情勢を背景にますます悪化し続けている。野宿者の急増、結核などの病気の蔓延、生活保護申請の増加、路上死の増加、社会的偏見風潮の激化、事件、トラブルの増加などなど、いくら私たちが民間の力を総力で投じて、路上においては様々な悲劇が日々繰り返されている。また、旧来の福祉行政主体の「路上生活者対策」（生活保護の適用、法外援護、越冬対策）も、この厳しい現状を全体として改善することなく「施策の窒息状態」とも言える限界性が際立ってきている。

極限的に悪化したこの状態をいかに改善するのか？ これは私たち全都実の課題であると同時に社会総体の課題であると考え。私たちは強いられた「不法占拠状態」からの発展の経路を「屋根と仕事」に定め、排除ではない社会内での解決を提唱し、自立支援センターを含めた「敗者復活システム」を路上に打ち立てる事を戦略化し、私たち民間の力も行政の力も、まずはそこに集中すべきと現下の行政闘争を取り組んでいる。

そして、つなぎ（暫定）実施ながらも自立支援事業の開始、そして、森林整備事業などへの緊急地域雇用対策の実施が今まさに最終決定局面を迎えようとしている。私たちはこれら事業を恩恵として捉えず、主体的に参画して行く事業として捉え、そのためにも私たち自身の力を集中させ、これらを勝ち取って行く決意である。

本、10・15全都実新宿集會に結集した私達は、全都野宿者の意志として以下の点を都区行政に要求し、そのためのたたかいに決起することをここに決議する。

- 一、自立支援事業、つなぎ（暫定）実施を年内に開始する事。
- 一、恒久的な自立支援センターの建設を早期にはかる事。
- 一、自立支援事業の職業相談部門や、冬期臨時宿泊事業の職業相談部門に森林整備工事など緊急地域雇用対策を積極的に位置付け、雇用枠の拡大をはかる事。
- 一、冬季に当たり人道的な立場から、生活保護適用、法外援護支給、越冬対策事業など例年以上の充実をはかる事。

1999年10月15日

全都実（全都野宿労働者統一行動実行委員会）新宿集會参加者一同
参加団体：山谷争議団／反失実、新宿連絡会、渋谷のじれん、全都実池袋

9、10月の医療相談

新宿連絡会医療班では、毎月第2日曜日、新宿中央公園ポケットパークでボランティアの医師による医療相談を行なっています。

9、10月の医療相談の結果は以下のとおりです。紹介状を書いてもらった人には翌日の福祉行動（新宿区福祉事務所での生活保護集団申請）への参加を呼びかけています。

9/12 医療相談

受診：21人

紹介状を書いた人：11人

10/10 医療相談

受診：21人

紹介状を書いた人：7人

また医療相談に並行してボランティアの鍼灸師による鍼灸治療も行なっており、こちらも好評です。毎回、4-6人が治療を受けています。

次回医療相談の予定は11/14（日）午後7時から新宿中央公園ポケットパークです。

（雨天時は都庁第一庁舎わき橋の下）

また11月14日には「新宿越冬セミナー」と題して、医療班の大脇医師による報告会を行ないます。ぜひお集まりください。（詳細はP7）

12月以降の越冬期には医療相談の回数を増やすなど、活動も強化していく予定です。

新宿・櫟の会の活動

今年4月から大久保地域センターの会議室を借りて、生活保護を受給している仲間の交流会「新宿・櫟（くぬぎ）の会」を開いています。月2回のお茶のみ会が中心ですが、10月11日にはみんなで高尾山のハイキングに行くなど交流を深めています。

第6回新宿夏まつり会計結果

遅くなってしまいましたが、第6回新宿夏まつりの会計報告が出ましたので、お知らせします。前号で事後カンパを呼びかけたところ、数名の方から新たに賛同金をいただき、赤字の補填に使わせていただきました。

賛同金を送ってくださった方、石けん・タオルなどの物資カンパを送ってくださった方、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。

<収入>	計263307
賛同金	173000
8/8-14会場カンパ	25013
8/15会場カンパ	35294
フリーマーケット収益	30000

<支出>	計372496
食材費	69038
文具・雑貨	53125
交通費	16200
ガソリン	3257
印刷・紙代	18450
氷	9866
散髪関連	5229
酒代	54000
祭壇関連	10451
音楽関連	23550
PA	24150
ゲスト交通費・謝礼	20000
レンタカー	22975
みこし製作	8000
Tシャツ製作	6916
写真・ビデオ関連	18652
弁当バック	5250
ゲーム関連	3387

<収支> -109189

「露宿 ROJUKU」 第1~3号 好評発売中！ 各500円

あなたは路上からの声を聴きましたか？

(毎日新聞・東京版 十月十八日付)

ホームレスの人がつづる

生の声伝える場に

ホームレスの人たちが、これまでの生や生活の詩、エッセイなどを創刊、近く第3号を刊

る。福さんは「文章は一人一人の個性やこれまでの人生がにじみでいて、それぞれの歴史を背負った言葉に接してはしい」と話している。

「建設会」は毎週日曜日に新宿中央公園で約600人の炊き出しを行うほか、週3回、新宿や池袋周辺で夜間パトロールを行っている。昨年2月、新宿駅西口広場から自主退去したホームレスの多くは、新宿中央公園や高層ビル街の谷間に移住し、通行人とふれあう機会も少なくなってきた。

そこで当事者たちの生の声を伝える場として、「露宿」を6月に発刊した。誌面の約7割がホームレスによる投稿文で、冊子500円。野村さん

「露宿」を6月に発刊した。誌面の約7割がホームレスによる投稿文で、冊子500円。野村さん

近く第3号が発刊される「露宿」



今までの人生など 詩やエッセーに

文芸雑誌「露宿」第3号近く刊行

【ご注文方法】

部数、送付先住所を明記の上、専用FAX: 03-3378-8761 またはEメール: inaba@jca.apc.orgまでご連絡ください。

代金の送金は、発送時に同封する郵便振替口座の用紙を使って、受け取り後、最寄りの郵便局で手続をしていただく形になります。

活動日誌 99/8/25～10/22

- 8/25 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(231)
- 8/27 (金) 全都実東京駅パトロール
- 8/29 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (豪雨のため一部のみ)
- 8/30 (月) 福祉行動 (4)
 戸山公園清掃監視
- 9/1 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(222)
- 9/4 (土) 夏まつり反省会
- 9/5 (日) 炊き出し、音楽会
 新宿パトロール (770)
- 9/6 (月) 福祉行動 (3)
- 9/8 (水) 戸山公園街頭相談監視
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(202)
- 9/9 (木) 全都実千代田区交渉
 臨時福祉行動 (1)
- 9/12 (日) 炊き出し、医療相談
 新宿パトロール (633)
- 9/13 (月) 福祉行動 (10)
- 9/15 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(214)
- 9/17 (金) 新宿区団体交渉 (100)
 全都実東京駅パトロール
- 9/19 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (659)
- 9/20 (月) 福祉行動 (3)
 戸山公園清掃監視
- 9/22 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(198)
- 9/24 (金) 新宿区団体交渉 (130)
 全都実東京駅パトロール
- 9/26 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (709)
- 9/27 (月) 福祉行動 (1)
- 9/29 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(210)

- 10/1 (金) 新宿区役所前集会 (200)
 全都実 特人厚/江東区交渉
 全都実東京駅パトロール
- 10/3 (日) 炊き出し
 新宿パトロール (676)
- 10/4 (月) 福祉行動 (3)
- 10/6 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(218)
- 10/7 (木) 全都実千代田区交渉
 全都実東京駅パトロール
- 10/8 (金) 都庁前情宣行動 (200)
- 10/10 (日) 炊き出し、医療相談
 新宿パトロール (657)
- 10/12 (火) 福祉行動 (6)
- 10/13 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(215)
- 10/14 (木) 全都実東京駅パトロール
- 10/15 (金) 全都野宿労働者デモ (600)
- 10/16 (土) 反失業全国集会 (500)
- 10/17 (日) 炊き出し、劇団公演
 新宿パトロール (704)
- 10/18 (月) 福祉行動 (3)
- 10/20 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(230)
- 10/22 (金) 全都実東京駅パトロール

*パトロールの後の括弧内の数は、路上で出会った仲間の人数。行動の後の括弧内の数は行動参加者の人数です。

*毎週日曜夜6時半からの新宿中央公園での炊き出しでは、毎回700～800食の炊き込みご飯が出ています。仲間の数が増え、米代もかさんできております。ぜひ、カンパのご協力をお願いいたします。

1999-2000 新宿越年越冬闘争へ！

新宿越冬セミナー「路上に生きる人々と共に」

11月14日（日）午後2時～5時 信濃町区民福祉会館2階集会室

（JR「信濃町」駅または地下鉄「四谷三丁目」駅いずれも徒歩5分）

報告：大脇 甲哉さん（新宿連絡会医療班・医師）

「野宿者のいのちと健康－医療相談の現場から」

第6回新宿越年・越冬闘争支援連帯集会

12月23日（木）午後1時～5時 日本キリスト教会館4階会議室

（地下鉄「早稲田」駅より5分、または「高田馬場」駅から早大行きバス「西早稲田」

下車徒歩3分。アバコプライダルホール、早稲田奉仕園と同敷地内）

第6回新宿越年闘争

12月26日（日）夜～1月4日（月）朝

新宿中央公園にて（新宿駅西口より徒歩15分。都庁裏の公園）

1300人の仲間の団結

今年も一步一步、冬の足音が聞こえてくる季節になりました。新宿ではこの冬も「仲間の命は仲間を守る」をスローガンに越年越冬闘争がたたかわれます。

東京都の概数調査でも、今年はずっと新宿区内の野宿者数が1000人を突破しました。長引く不況の中、新たに野宿に至る人が増加し、仲間の中には「今年初めて路上で冬を迎える」という人も少なくありません。

今年の越年越冬闘争はこの新宿の1000～1100人の仲間に加え、池袋の200～300人の仲間と共に取られます。冬における最大の敵は、野宿の仲間がひとりひとり分断させられ、孤立することです。私たちはこれに対して、仲間同士の支え合いのネットワークを育みながら、1300人の仲間の団結で仲間の命と生活を支えていきたいと考えます。

1900年代最後の年を締めくくる第6回新宿越年越冬闘争（1999年12月から2000年3月まで）に多くの方々のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

（詳細は次ページへ）

米3.45t 毛布2000枚



ひと冬を過ごすのに必要なお米と毛布の量です。(98年12月～99年3月のデータより)

お米は野宿の当事者の手により、炊き込みご飯となって、新宿の仲間の胃袋に届けられます。

新宿連絡会は94年12月より毎週欠かさず日曜日(年未年始は連日)の炊き出しを行なっています。

この冬も皆様のあたたかいご支援をお願いいたします！ ————— **新宿連絡会事務局一同**

☆必要なもの：米またはお米券、毛布、衣類(男物中心。下着・靴下・防寒着・ズボンなど)、使い捨てカイロ、テレホンカード、そしてやはりフトコロをあたたかくしてくれるもの

☆資金カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

☆物資カンパ送り先：東京都台東区日本堤1-25-11山谷労働者福祉会館気付

☆お問い合わせ・連絡先：03-3876-7073/090-3818-3450(笠井)

新宿連絡会 99年8月-9月期会計報告

<収入>

郵便振替カンパ 55口	522,920
「露宿」通信会費11口	50,000
「露宿」売上	42,400
「提言」売上	11,000
笠井本 売上	116,600
個人・団体カンパ	48,096
返済金	130,413
計	921,429

収 支 193,735
前期負債 246,919

<残高> △53,184

<支出>

炊事関連費	292,195
交通費	109,650
車両燃料費など	9,098
印刷費	10,888
コピー・DPE費	8,829
文具・図書費	1,890
発送費	64,537
倉庫家賃・水道光熱費	91,977
電話代	32,802
薬医療関連費	11,180
備品	12,436
雑費	1,712
池袋活動費	80,500
計	727,694